

県内有数の産地！

サトイモ収穫スタート！

【11月中旬に刈谷市内で収穫風景をご紹介します】

J Aあいち中央さといも部会（部会長：石川明成）では、11月上旬から刈谷市北部の西境地区を中心にサトイモの収穫がはじまります。部会では、子芋と孫芋がくっついた状態で「刈谷の里芋」として出荷し、他産地と差別化しています。芋と芋の接着面は手作業で泥を落とさなければならぬため手間はかかるが、ユニークな形状と切断面が少ないため、新鮮さが保てることから評価されています。



子芋と孫芋がくっついた状態で出荷されます



10キロもあるサトイモを手作業で掘り起こします。

学校給食にサトイモを使ったメニューも登場！

2014年からは刈谷市内の幼稚園、小・中学校の給食にサトイモを提供しています。11月中旬から1月下旬までの給食期間中、5回にわたりサトイモを使った給食メニューが提供されます。サトイモの煮味噌や八杯汁、さといもコロッケなどさまざまなメニューで提供されます。

J Aあいち中央サトイモ部会

- 部会員：17人
- 栽培面積：約2ヘクタール
- 出荷時期：11月上旬から2月上旬まで
- 出荷量：約4トン
- 流通先：ユニー(株)系列の東海地区の「ピアゴ」

<今年産の生育状況>

8月の長雨の影響が心配されましたが、順調に生育しており例年通り、高品質なサトイモの出荷が見込まれます。



一つ一つ丁寧に土を落として子芋・孫芋に分けていきます。

<メディア対応日>

- 日時：2021年11月中旬
 - 場所：J Aあいち中央刈谷北部支店集合（刈谷市東境町神田36-1）
- ※取材当日は、サトイモ圃場（車で約10分）で収穫の様子と生産者作業場（車で約10分）で出荷準備を撮影いただけます。
- ※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp